

超長期借換保証(スーパーランディング20)

1 保証対象者 当協会の保証対象要件に該当し、下記のすべての要件を満たす中小企業者・小規模事業者

2 資 格 要 件 (1)当協会の保証付融資残高があるもの
(2)返済力が認められるもの

3 保証限度額 個人・法人(組合) 2億円

4 資 金 使 途 既存保証付借入金の返済資金のほか、当該返済資金以外の事業運転資金

ココをチェック!!

既存借入金の借換集約により資金繰りが安定します。

5 保 証 期 間 20年以内(据置期間なし)

ココをチェック!!

最長20年の超長期の保証期間で借換えすることができます。

6 そ の 他 ※次の要件をすべて満たす場合に限り、金融機関プロパー貸出金の旧債振替が認められます。ただし、保証会社の保証付プロパー貸出金、他行プロパー貸出金の旧債振替は認められません。

(1)金融機関が継続した期中管理を行い、必要に応じて経営支援を実施すること
金融機関は貸付実行後に必ず保証利用者を訪問のうえ、モニタリングを行い、一年に一度「業況報告書【超長期借換保証(スーパーランディング20)用】」(様式M78)を協会に提出すること

(2)真水支援と併せて行うこと

(3)必要に応じて引当担保等により担保を徴求して取り扱うこと

(4)約定返済額の軽減に繋がるものであること

なお、プロパー貸出金の旧債振替を行う場合は、「既存債権充当(約定書第3条)申請書【超長期借換保証(スーパーランディング20)用】」(別紙様式M77)と旧債振替する債権の原契約書(写)を保証申込時に提出してください。

返済力が認められるものの定義

次の計算式により「返済力」を算出し、概ね20倍以内に収まること

【法人】

$$\text{返済力} = \frac{\text{借入金}}{\text{返済原資}} \cdots \begin{array}{l} \text{現在の金融機関借入金} + \text{今回借入金の純増額} \\ \text{直近決算期における償却前経常利益} \end{array}$$

【個人】

$$\text{返済力} = \frac{\text{借入金}}{\text{返済原資}} \cdots \begin{array}{l} \text{現在の金融機関借入金} + \text{今回借入金の純増額} \\ \text{直近決算期における償却前特別控除前所得} - \text{生活費}^{**} \end{array}$$

※世帯状況等を加味した実態の生活費で算出してください。

なお、6か月以上の試算表における償却前経常利益を返済原資とする場合等の「みなし返済力」が認められる場合も収支計画等の添付を条件に取扱い可能とします。

「返済力」の確認資料(別添資格要件確認書【超長期借換保証(スーパーランディング20)用】もしくは任意様式)を添付してください。

【申込時添付書類の様式】

【資格要件確認書【超長期借換保証(スーパーランディング20)用】】

資格要件確認書【超長期借換保証(スーパーランディング20)用】

申込人名 _____ 年 月 日

①当協会の保証付融資残高があるもの

現在残高 = _____ 千円 ※②の借入金の内数

②返済力が認められるもの

返済力 = $\frac{\text{借入金合計}}{\text{返済原資}}$ … 現在の金融機関借入金+今回借入金の純増(真水)額
… 直近決算期における償却前経常利益^{M1}(試算表における償却前経常利益)
※1 個人の場合は償却前特別控除前所得

(1)借入金

金融機関	現在残高
	千円
	千円
	千円
	千円
	千円
	千円
	千円
	千円
	千円
	千円
合計	千円
今回の借入金の純増(真水)額	千円
借入金合計	千円 (A)
(うち、プロパー・旧債振替額	千円)

(2)返済原資

【法人】

科目	直近決算期	試算表(みなし)
経常利益	千円	千円
減価償却費(+)	千円	千円
返済原資	千円	千円

返済原資 = _____ 千円 (B)

【個人】

科目	直近決算期	試算表(みなし)
特別控除前所得	千円	千円
減価償却費(+)	千円	千円
生還費(-) ^{M2}	千円	千円
返済原資	千円	千円

※2 世帯状況等を加味した実態の生活費で算出すること。

返済原資 = _____ 千円 (B)

返済力 = $\frac{\text{借入金合計 (A)}}{\text{返済原資 (B)}}$ = _____ 千円 < 20 倍

【旧債振替の申請書の様式】

【既存債権充当(約定書第3条)申請書
【超長期借換保証(スーパーランディング20)用】(別紙様式M77)】

(様式 M77)

既存債権充当(約定書第3条)申請書
【超長期借換保証(スーパーランディング20)用】

愛媛県信用保証協会 御中 _____ 年 月 日
(取扱金融機関名)

_____ (申込人)

下記の理由により、西暦 _____ 年 月 日付信用保証依頼書に基づく保証に係る貸付をもって、下記旧債に充当したいので承認願います。

記

1. 債 務 者 住所 _____
氏名 _____

2. 貸 付 番 号 _____

3. 当初貸付年月日 _____

4. 当初貸付金額 _____

5. 返済期日 _____

6. 貸 付 形 式 _____

7. 既 存 債 権 額 _____

8. 当初の資金使途 _____

9. 「旧債振替」の要件

次の【要件】をすべて満たしています。

当行(当庫)は、申込者に対して継続した期中管理を行い、必要に応じて経営支援を実施します。

① 貸付実行後に継続して申込者を信用金融機関への取組による監視のうえモニタリングを行い、一年に一度「業況報告書【超長期借換保証(スーパーランディング20)用】」(様式M78)を貴協会に提出します。

② 今回の支払額 _____ 千円

③ 必要に応じて担保引当等による取組みを協議します。

④ 約定返済軽減効果

既存借入金		今回の融資	
旧債振替する貸出金の約定返済額(年額)	千円	今回の融資の約定返済額(年額)	千円
借換する保証付融資の約定返済額(年額)	A	千円	
小計	A	千円	
真水部分の約定返済額(真水額+返済期間)	B	千円	
合計 A+B	C	千円	
		約定返済額軽減効果 C-D	E 千円
		CがDを上回る	

(備考) 既存債権に係る原契約書(写)を添付してください。